



No.81

令和8年4月21日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

大島認定こども園



今日も笑顔が満開!



大島認定こども園のホームページはこちらから

関連記事 P20

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集	令和8年度当初予算/議会報告会	2
臨時/定例会議	工事請負契約/当初・補正予算などを審議	8
活動報告	所管事務調査/委員会視察研修	12
一般質問	「おい町合併時における水確保の約束とは」など4人登壇	14
追跡	「災害時における避難所のトイレ対策」など	18
アンケート結果	議会だよリアンケート調査結果の報告	19

令和8年度当初予算を可決!



前年度当初予算額を上回る大型骨格予算を編成

総額 155億9051万円

前年度当初予算比 3582万8千円増額

議案第18号 令和8年度一般会計予算 122億4700万円

前年度当初予算比 2100万円の減額

歳出 122億4700万円

★子育て支援の充実

- **子育て支援医療費助成事業 3671万2千円**
高校生世代までの医療費の負担軽減。
- **保育料などの負担軽減 3286万2千円**
第一子にかかる保育料の無償化や、3歳以上の副食費についても無償化。
- **入学等応援事業 1105万8千円**
小・中学校の入学前や中学校卒業前に給付金を支給。
- **子どもの遊び場整備事業 8380万7千円**
名田庄地区で整備している全天候型遊び場整備。

【子育てに関する主な質疑】

問 部活動の地域移行に伴う課題などは。

答 2つの部活動で受け皿がなく、保護者会での対応を検討中。

問 スポーツ教育アドバイザーの役割は。

答 社会体育の振興に関する企画や、地域スポーツの育成支援などを行う。

問 ハイリスク妊婦交通費等支援事業とは。

答 町の旅費規程に基づき、交通費を支援。

★高齢者支援の充実

- **高齢者介護予防・地域支え合い事業 (ライフスタイルセンシング) 1471万円**
AIによる健康状態の解析を行い、健康管理や離れて暮らす家族などの、見守り効果の検証に取り組む。

歳入 122億4700万円

- ・ 自主財源 (住民税など) **69億7502万2千円**
- ・ 依存財源 (国・県交付金、補助金など) **52億7197万8千円**
- ※ 歳入総額に占める原子力発電関連収入 **67億6234万8千円**



● 歳入の主な内訳

- ・ 町税 (住民税、固定資産税など) **48億7661万4千円**
- ・ 国庫支出金 (電源立地地域対策交付金など) **27億4240万7千円**
- ・ 県支出金 (核燃料税交付金など) **13億248万3千円**
- ・ 繰入金 (財政調整基金など) **16億5359万2千円**

※骨格予算とは…首長選挙により、政策的な新規事業を基本的に盛り込まずに、学校などの運営費や、契約済みの事業費など、必要最小限の経費で編成された予算

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

★農林水産業への支援

●農業活性化支援事業 **8212万円**
認定農業者などの機械整備に対し助成し、経営の安定化や後継者の育成を図る。



●農業経営支援対策事業 **807万3千円**
乾田直播の実証試験や、認定農業者などに対する農業用燃油の助成。

●園芸農業総合支援事業 **611万6千円**
園芸農業（ビニールハウスなど）への助成。

●経営体育成基盤整備事業 **1073万2千円**
名田庄下地区の圃場整備。



●漁家経営構造改善事業 **4902万6千円**
漁船に搭載する動力機器などの導入に対する支援。

●漁業経営安定化対策事業 **800万円**
漁業用燃油に対する助成。

【農林水産業に関する主な質疑】
問 農業公社が予定している稲作経営面積は。
答 1.5割を予定。
問 乾田直播試験は単年度だけか。
答 大飯、名田庄地区で試験を行うが、天候などの影響もあるので、複数年を予定。

★商工観光業への支援

●商工管理事業（女性の雇用環境整備） **1500万円**
女性が活躍しやすい職場環境整備に取り組む事業者への支援。

●外出支援事業 **386万2千円**
70歳以上の高齢者に路線バス無償化など。

【高齢者支援に関する主な質疑】
問 ライフスタイルセンシング事業は、将来的に医療費などの抑制につながるのか。
答 データに基づく疾病の把握に効果的と考えている。
問 過去に免許証を返納した方も対象か。
答 デマンドバスは5年、タクシー券は使い切るまで複数年使用可能。
問 水素ドローンを活用した物流の調査とは。
答 食品や薬などの物流を想定し検証する。

★公共交通機関の充実

●バス対策事業 **1億4918万7千円**
路線バス維持の支援と町内外で運行しているデマンドバスの運行を継続。

●JR小浜線利用促進事業 **760千円**
従来の回数券購入補助などのほか、新たに65歳以上の利用者への助成を行う。



★防災・防犯対策の充実

●防災対策事業 **5319万4千円**
備蓄物資の整備、防災訓練の実施や自主防災組織への支援など、防災体制の充実を図る。

●防犯事業 **407万6千円**
防犯カメラ設置支援や防犯隊活動を実施。

●漁港施設整備事業（河村防波堤整備） **2億8876万3千円**
5ヶ年計画で進めてきた、河村防波堤整備工事の最終予定年度。

【防災対策などに関する主な質疑】
問 防犯カメラの設置状況などは。
答 16地区、33ヶ所に設置済み。

★企業誘致と起業の支援

●企業振興対策事業 6261万7千円

企業立地助成制度に基づく支援と、佐分利地区に整備されている「しごとみらい産業団地」への企業誘致に取り組み、若者のU・Iターンなどにつなげる。



●起業促進支援事業 2522万1千円

町内で創業する場合、創業時の初期投資などの一部を支援する。

●SEE SEA PARK管理運営事業 3176万5千円

賑わいづくりや起業、創業の拠点施設として、起業に向けた支援や、年間を通じた賑わい創出イベントを開催し、うみんぴあエリア全体の誘客数の増加に取り組む。



★住民サービスの充実

●町民指標活動支援事業 3620万4千円

集落ぐるみによる自発的な取り組みを支援する。

●いきいき長寿村改修事業 1億3552万7千円

老朽化に伴う改修工事。

●「なごみ」設備等改修事業 3億2250万1千円

保健福祉センター「なごみ」の空調、給湯、照明設備などの改修工事。

●予防事業 464万6千円

事業の対象者に対し带状疱疹予防接種費の助成。

●空き家等対策事業 1327万9千円

新たに空き家を取得、改修される方や、空き家を活用して事業を実施される方に対して、一部助成する。

●観光振興対策事業 1億455万7千円

スーパー大火勢などの地域活性化イベントへの助成などを行い、観光誘客の拡大につなげる。



●風車会館維持管理事業 3383万2千円

風車会館の内装、電気設備の改修工事。

●きのこの森管理運営事業 2700万円

きのこのものしり館の外壁、屋上防水処理などの改修工事。



★交流の充実

●台湾交流事業 46万5千円

●社会教育事業(ドイツ派遣など) 474万4千円
台湾淡水区との交流や、ドイツ・ノイマルクト市へ町民を派遣し、交流を深める。

●戦略的PR事業 1456万3千円

町のPR動画を制作し、移住・定住の促進につなげる。

●官学連携事業 1277万9千円

コンテストを通じて、若者の視点や発想によるまちづくりのアイデアを提案していただき、優秀なアイデアの実行支援を行う。

【交流に関する主な質疑】

問 コンテストの課題は。

答 テーマ設定に工夫をこらしたい。

問 若者出会い交流事業における、詐欺などへの対策は。

答 入会時に面談を行い、本人確認を行っている。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

議案第19号 令和8年度後期高齢者医療事業
特別会計予算 1億5269万4千円
 前年度当初予算比 2838万2千円の増額

議案第20号 令和8年度国民健康保険事業
特別会計予算 9億2249万4千円
 前年度当初予算比 8718万4千円の増額
 (反対討論) 猿橋 巧 議員

議案第21号 令和8年度国民健康保険診療事業
特別会計予算 9031万8千円
 前年度当初予算比 509万1千円の減額

議案第22号 令和8年度介護保険事業
特別会計予算 10億2284万3千円
 前年度当初予算比 9212万円の増額

議案第23号 令和8年度介護サービス事業
特別会計予算 779万円
 前年度当初予算比 21万7千円の増額



議案第24号 令和8年度簡易水道事業
会計予算 5億2690万4千円
 前年度当初予算比 906万6千円の増額

議案第25号 令和8年度下水道事業
会計予算 6億2046万7千円
 前年度当初予算比 1億5505万円の減額

●こども家族館管理運営事業
1億6276万2千円

大阪・関西万博で展示された恐竜VR映像設備を移設した「恐竜体験ゾーン」などを活用し、魅力ある施設運営につなげる。



●雇用対策推進事業(地元就職応援)
197万9千円

就職活動を控える学生に対し、地元企業を知ってもらい、就職につながる交流イベントを開催する。

●総合運動公園合宿施設整備事業
13億5461万4千円

運動公園内で進めている合宿施設新築工事。



【住民サービスに関する主な質疑】

- 問** 骨格予算だが、区長要望に対する対応は。
- 答** 30項目対応しているが、その他は6月補正予算で優先順位を含めて検討する。
- 問** 人材派遣業務の概要などは。
- 答** 一次的な人員不足に対応するもの。
- 問** 選挙時における、共通投票所とは。
- 答** 投票日当日において、町内6ヶ所どこでも投票ができることとなる。

討 論

(議案第18号一般会計)

○反対 猿橋 巧 議員

原子力関連への財源依存は、多様な財源と事業を阻害するため、改めるべきである。また、原子力広報は安全と推進予算となっている。こども家族館は県営施設であり、町が運営費を補うべきではない。県営事業負担金が増加しており、負担率を見直すべきであり反対する。

○賛成 中西秀和議員

骨格予算ではあるが、関係人口の増加策、町の活性化や、賑わいづくりにつながる補助政策、子育て支援策など、町民が安心して暮らすための経常経費、義務的経費が盛り込まれていることから賛成する。

報告会)を開催しました

おおい町議会では、町民の皆さまへの活動報告や意見交換を行う場として、議会報告会を開催しています。今年度は「町と原子力発電所の未来を考える」「農林水産業の未来を考える」「安心して暮らせるまちづくり」の3つをテーマにし、大島・本郷・佐分利・名田庄で開催しました。いただいたご意見は、今後の議会活動に活かしてまいります。

大島



- ・原子力災害時の避難道として、第二青戸大橋の早期建設が必要。
- ・大島トンネルの照明がほとんど消えていて暗いため見えにくい。
- ・大島保育園の山側に柵がなく、荒れ放題状態となっているが、町で対応ができないか。
- ・人口減少対策として雇用創出のための企業誘致や、大島地区に若者に特化したアパートを作してほしい。
- ・水産業の後継者がいない現状では外国人や町外の人に頼らざるを得ない中で、来てくれた方の住まいが問題である。旧大島公民館の利用もしにくい。
- ・発電所の乾式貯蔵について、使用済燃料が永久保存にならないか心配している。
- ・以前は評価が高く人気があった赤礁崎オートキャンプ場だが、施設が老朽化していてイメージが悪くなっている。

- ・渇水対策として、水源のない地域は上流地に農業用用水を溜めておけるタンクの常設などを考えてほしい。
- ・大阪行きのバス（若狭ライナー）が無くなり不便。土日運行など若狭本郷駅を発着する路線を、町費を投入してでも復活させるべきである。
- ・スクールバスが通らない地域（長井・成和・小堀）の対策が必要である。教育委員会に伝えたが改善されない。
- ・火葬場を早く建設してほしい。都会では街中に綺麗で違和感がない葬儀場がある。
- ・原子力と町の将来を考えると、産業や雇用の面から、大飯発電所の1, 2号機のリプレイスが必要である。
- ・うみんぴあ敷地内釣り禁止となっているが海を生かして釣りOKにできないか。

本郷



議員と語る（議会）

特集2

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

佐分利



- ・地方バス路線（福鉄バス）は朝夕のバスには乗車されているが、昼間は無人の状態となっている。昼間の運行を取りやめ、デマンドバスに切り替えれば、補助金の削減に繋がるのではないかと。
- ・JR若狭本郷駅発着の福鉄バスとJR小浜線との乗り継ぎ関係の時間が合っていない。
- ・デマンドバスを利用するには予約する必要がある、急な用事の場合利用しにくい。
- ・原子力発電に依存しないまちづくりへの転換が必要。
- ・U・Iターン対策として受け皿づくり（企業誘致）が必要。
- ・県道岡田深谷線の早期改良よりも、小浜綾部線の改良を先に進めた方が良いのではないかと。
- ・各家庭の散水などに使用するため、雨水を活用するためのポリ容器購入に対する補助制度の新設。
- ・砂防ダムなどに堆砂した土砂を取り除き、水を貯めて渇水時に使用してはどうか。

名田庄

- ・国が行う学校給食無償化は小学校のみとなるが、おおい町では中学校の無償化も考えているのか。
- ・物価高騰で電気代も上がっているため、電気代への補助は考えられないか。
- ・全国的に下水道管の老朽化が問題となっているが、おおい町の状況はどうなっているのか。
- ・原子力発電所だのみから脱却し、新たな産業への転換を考えていくべき。
- ・おおい町では情報の出し方がダメである。イベントなどの通知を分かり易くするなど、広報活動に力を入れるよう議会からも強く進言してほしい。
- ・不通の林道が多く点在しているため、通行ができるよう早急に整備してほしい。
- ・近年、クマの被害が全国で多発しているが、人里と森林の境界が整備されていないことが原因であると考え、おおい町でも整備を進める必要がある。



各会場でいただいた主なご意見は、4月下旬に議会HPにて回答をさせていただきます。

令和8年2月臨時会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
報告第1号	専決処分報告について(令和7年度おおい町一般会計補正予算(第8号))	—	承認	P9
報告第2号	専決処分報告について(工事請負変更契約の締結について(急傾斜地崩壊対策工事(河村(狭間)地区)))	—	承認	
報告第3号	専決処分報告について(工事請負変更契約の締結について(過年発生林道施設災害復旧工事(妻谷尾線)))	—	承認	
議案第1号	特定事業変更契約の締結について(おおい町複合型交流施設第2期改修運営PFI事業)	〈全協〉	原案可決	
議案第2号	工事請負契約の締結について(iネットぴあ非常用発電装置更新工事)		原案可決	

令和8年3月定例会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先	
議案第3号	令和7年度おおい町一般会計補正予算(第9号)	〈予算〉	原案可決	P9	
議案第4号	令和7年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決	P10	
議案第5号	令和7年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		原案可決		
議案第6号	令和7年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決		
議案第7号	令和7年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		原案可決		
議案第8号	令和7年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)		原案可決		
議案第9号	令和7年度おおい町簡易水道事業会計補正予算(第5号)		原案可決		
議案第10号	令和7年度おおい町下水道事業会計補正予算(第3号)		原案可決		
議案第11号	おおい町犯罪被害者等支援条例の制定について		原案可決		
議案第12号	おおい町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について		〈総務〉		原案可決
議案第13号	おおい町一般職の職員等の旅費に関する条例の全部改正について	原案可決			
議案第14号	おおい町行政手続条例の一部改正について	原案可決			
議案第15号	おおい町職員の懲戒の方法及び効果に関する条例の一部改正について	原案可決			
議案第16号	おおい町国民健康保険税条例の一部改正について	〈産建〉	原案可決	P10	
議案第17号	おおい町きのこの森の設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決		
議案第18号	令和8年度おおい町一般会計予算	〈予算〉	原案可決		
議案第19号	令和8年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計予算		原案可決		
議案第20号	令和8年度おおい町国民健康保険事業特別会計予算		原案可決		
議案第21号	令和8年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算		原案可決		
議案第22号	令和8年度おおい町介護保険事業特別会計予算		原案可決		
議案第23号	令和8年度おおい町介護サービス事業特別会計予算		原案可決		
議案第24号	令和8年度おおい町簡易水道事業会計予算		原案可決		
議案第25号	令和8年度おおい町下水道事業会計予算	原案可決			
議案第26号	町道路線の認定について	〈産建〉	原案可決	P11	
議案第27号	若狭広域行政事務組合規約の変更に関する協議について	〈総務〉	原案可決	P10	
議案第28号	令和7年度おおい町一般会計補正予算(第10号)	〈全協〉	原案可決		
—	おおい町選挙管理委員会委員の選挙	—	当選		
—	おおい町選挙管理委員会補充員の選挙	—	当選	P11	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣		

賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋 ^啓	今川	猿橋 ^巧
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席 (原田議長は採決に加わらない)

2月臨時会議

令和8年2月10日

審議内容

2月臨時会議に付議された、報告3件、議案2件を審査した。

議案審議

報告事項を承認

●報告1号

専決処分の報告について
(令和7年度おおい町
一般会計補正予算(第8号))

924万円増額

衆議院議員総選挙などに係る経費を計上するもの。

【全会一致・承認】

●報告2号

専決処分の報告について
(工事請負変更契約の締結について(急傾斜地崩壊対策工事(河村(狭間)地区))

【主な変更内容】

測量結果による掘削土量など増加によるもの。

変更契約金額
348万9222円

変更後契約金額
6299万7千円

契約の相手方
株式会社 こんどう

【全会一致・承認】

●報告3号

専決処分の報告について
(工事請負変更契約の締結について(過年発生林道施設災害復旧工事(妻谷尾線))

【主な変更内容】

林道復旧に必要な盛土量の増加によるもの。

変更契約金額
337万4800円

変更後契約金額
7780万9600円

契約の相手方
株式会社 荒木

【全会一致・承認】

●議案1号(全協)

特定事業変更契約の締結について(おおい町複合型交流施設第2期改修運営PFI事業)

【主な変更内容】

基準金利が確定したことにより増額を行うもの。
変更契約金額
1103万794円

変更後契約金額
6億2657万6418円

契約の相手方
うみんぴあおおい

パートナーズ株式会社

【全会一致・可決】

●議案2号(全協)

工事請負契約の締結について(iネット)および非常用発電装置更新工事)

非常電源設備などの更新や、工事期間中の仮設電源を確保するもの。

契約金額
5809万2897円

契約の相手方
共和電工株式会社

【全会一致・可決】

3月定例会議

令和8年2月25日~3月17日

審議内容

3月定例会議に付議された議案26件を審査した。

議案審議

補正予算を可決

●議案3号(予算)

令和7年度おおい町一般会計補正予算(第9号)
3407万4千円増額

【主な減出内容及び質疑】

○バス対策事業

497万円増額

民間バス運営事業者への補助金増額理由は。

問

民間バス運営事業者への補助金増額理由は。

答

補助算定基準に基づき、他市町のバス路線廃線や、乗車密度が変更したことによるもの。



して捉えている。

○新婚生活支援事業

608万5千円減額

問

補助金が、当初予算額の半額以上の減額となっているが、対象者の申請漏れはなかったのか。

答

窓口に手続きに来られた際に周知しており、対象となる方が少なかった。



○地域おこし協力隊設置事業

304万5千円減額

問

全額、減額となった理由は。

答

シーシーパークにおいて、テナント誘致を進めるための人材を募集したが、年度途中の募集でもあり、応募者がなかったため。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

○小学校（本郷小学校）
校舎等改修事業

問 エレベーターを新設する理由は。

答 現在エレベーターを必要とする児童はいないが、国の方針に基づき設置するものである。

討論

○反対 猿橋 巧議員
歳入において、株式等譲渡益課税率に疑問がある。歳出においては、県営事業負担金の、率の見直しが必要であり反対する。

【賛成多数・可決】

●議案4号〈予算〉

令和7年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）

496万4千円増額

【全会一致・可決】

●議案5号〈予算〉

令和7年度おおい町国民健康保険事業特別会計補

正予算（第4号）

6471万1千円増額

【全会一致・可決】

●議案6号〈予算〉

令和7年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第3号）

484万3千円減額

【全会一致・可決】

●議案7号〈予算〉

令和7年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

9292万円増額

【全会一致・可決】

●議案8号〈予算〉

令和7年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）

25万7千円減額

【全会一致・可決】

●議案9号〈予算〉

令和7年度おおい町簡易水道事業会計補正予算（第5号）

2254万8千円減額

【賛成多数・可決】

主な質疑

問 昨夏の本郷地区湯水対応業務において、予定していたダム貯水率25%に達したため、水運搬を終了したのか。

答 回復見込みとなつたことから業務を終了した。

【全会一致・可決】



大津呂ダム

●議案10号〈予算〉

令和7年度おおい町下水道事業会計補正予算（第3号）

531万5千円減額

【全会一致・可決】

当初予算を可決

●議案18号〈予算〉

令和8年度おおい町一般会計予算

122億4700万円

【賛成多数・可決】

●議案19号〈予算〉

令和8年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計予算

1億5269万4千円

【賛成多数・可決】

●議案20号〈予算〉

令和8年度おおい町国民健康保険事業特別会計予算

9億2249万4千円

【賛成多数・可決】

●議案21号〈予算〉

令和8年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算

9031万8千円

【全会一致・可決】

●議案22号〈予算〉

令和8年度おおい町介護保険事業特別会計予算

10億2284万3千円

【全会一致・可決】

●議案23号〈予算〉

令和8年度おおい町介護サービス事業特別会計予算

779万円

【全会一致・可決】

●議案24号〈予算〉

令和8年度おおい町簡易水道事業会計予算

●収益的収入

3億5574万9千円

●収益的支出

3億5574万9千円

●資本的収入

1億6005万8千円

●資本的支出

1億7115万5千円

【全会一致・可決】

●議案25号〈予算〉

令和8年度おおい町下水道事業会計予算

●収益的収入

4億9073万4千円

●収益的支出

4億9079万9千円

●資本的収入

9946万2千円

●資本的支出

1億2966万8千円

【全会一致・可決】

※当初予算に関する詳しい質疑などは2〜5ページ（特集ページ①）に記事あり。

補正予算（その2）を可決

●議案28号〈全協〉

令和7年度おおい町一般会計補正予算（第10号）

2280万円増額

不足となった除雪費用を計上するもの。

【全会一致・可決】

条例制定・改正を可決

●議案11号〈総務〉

おおい町犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者などに対する町・町民・事業者の責務と、必要な施策による被害の軽減並びに地域社会で支える仕組み作り。

主な質疑

問 第5条の、事業者は雇用する被害者

などの就労に関し必要な配慮とあるが、具体的な想定は。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

答 就労への配慮では、犯罪被害者の通院や、法廷出廷への休暇取得の配慮が必要。2次被害の防止では、心ないうわさや偏見がはびこらない配慮が必要。個人情報適切な管理や、ハラスメント防止への配慮が必要。

【全会一致・可決】

●議案12号〈総務〉

お問い合わせ特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

3歳未満で保育所などに通っていない子どもを月10時間まで通園できる制度。

主な質疑

問 新たに職員を採用するののか。

答 余裕活用型での受入れを想定しているが、新たな人員配置などは考えていない。

【全会一致・可決】

●議案13号〈総務〉
お問い合わせ一般職の職員等の旅費に関する条例の一部改正について

国家公務員などの旅費に関する法律の一部改正などを踏まえた改正。

【全会一致・可決】

●議案14号〈総務〉

お問い合わせ行政手続条例の一部改正について

行政手続法の改正により、聴聞の通知に係る公示はデジタル化する。

主な質疑

問 閲覧用パソコンの設置場所と、取り扱いについて何課の職員が対応するののか。

答 現在の総合窓口にて設置することを考えており、総務課の職員で対応する。

【全会一致・可決】

●議案15号〈総務〉

お問い合わせ職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部改正について

法令に基づき所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 職員の減給の率を決めるものなのか。また、第二種初任給調整手当も含まれるのか。

答 会計年度任用職員について、第二種初任給調整手当をフルタイムの職員と同列にする改正。

【全会一致・可決】

●議案16号〈総務〉

お問い合わせ国民健康保険税条例の一部改正について
県が提示した保険料率に対し、被保険者の負担が段階的に一定の水準となるよう税率などを改正するもの。

主な質疑

問 新たに創設される子ども子育て支援金制度では、18歳から課税対象となるのか。

答 18歳から後期高齢者に入るまで対象

となる。

●議案17号〈産建〉

お問い合わせきのこの森の設置及び管理に関する条例の一部改正について

きのこのものしり館の「お絵かきタウン」などの運用を、本年度末で終了することに伴い、所要の改正を行う。

主な質疑

問 このシステムは、きのこの森のPRや、雨天、猛暑対策として導入されたものであるが、これに代わる新たなものを考えているのか。

答 現在、中・長期的な計画は持ち合わせていない。

【全会一致・可決】

町道路線認定を可決

●議案26号〈産建〉
町道路線の認定について
造成地内の道路2路線

を町道に認定する。

主な質疑

問 町道路線として認定する2路線の周辺は、異常潮位による道路への冠水により、通行止めとなる路線があるが、大丈夫なのか。

答 今回認定する道路は分譲地内であり、地盤高も高く整備されており、昨年夏の異常潮位においても冠水していなかった。

【全会一致・可決】

規約変更を可決

●議案27号〈総務〉
若狭広域行政事務組合規約の変更に関する協議について

組合事務所的位置を、小浜市役所内に変更する。

主な質疑

問 議場も小浜市役所に移転するののか。

答 議会の関係も小浜市役所内に移転す

ることになる。

選挙管理委員の選挙

お問い合わせ選挙管理委員および、補充員の任期が3月8日に満了を迎えることから、選挙を行い、その結果、お問い合わせ選挙管理委員には次の方々が当選されました。

選挙日

令和8年2月25日

選挙管理委員会委員

- 小野 与三(名田庄三重)
- 三谷 忠男(川上)
- 中谷 真一(河村)
- 藤田 明美(長井)

補充員

- 森 一博(名田庄下)
- 猿木 能子(父子)
- 鈴谷 直久(岡安)
- 神野 淳一(河村)

新北市淡水区との更なる交流の促進へ！

台湾友好交流促進特別委員 会活動報告

多くの知見を得るため、友好交流の先進地である大阪を訪問しました。

【期日】令和8年2月12日～13日

【場所】台北駐大阪経済文化弁事処

神農生活(あべのハルカス内)

貝塚市役所

【参加者】委員 6名

台北駐大阪経済文化弁事処

台湾新北市淡水区との「友好交流都市覚書」を締結した当町が、今後の交流を進めていくうえで必要な事項について意見を伺うため、台北駐大阪経済文化弁事処を訪問しました。弁事処では、劉拓副所長をはじめ職員の方々に大変親切に対応していただきました。

その中で、台湾政府による「台湾青年百億海外円夢基金計画」という制度の説明がありました。

この制度は、台湾の青年の海外経験の促進や国際的人材の育成を

目的とした支援プロジェクトです。弁事処からは、この制度の受け皿として、ぜひおい町でも受け入れを検討してほしいとお話をいただきました。

この制度は、半年間ではあるものの台湾政府の支援のもと、地域おこし協力隊のような形で町内で活動していただくことが可能となります。

例えば、おい町の魅力を KKday (アジア最大級のオプショナルツアー予約サイト) や動画共有サイト、SNS などを通じて発信する業務などが想定されています。

台湾からの観光客は日本の地方にも目を向けていることから、当町において観光や交流事業を加速させるためには、この制度を活用し、条件を満たした青年を受け入れることも有効な方法であると感じました。



また、台湾との交流に関するさまざまな支援制度や補助制度も紹介され、町としても弁事処との情報共有や連携をより密にしていくな必要を感じました。

神農生活

(台湾食雑貨セレクトショップ)

台湾の雑貨や食料品などの商品販売のほか、台湾グルメを楽しめる飲食店が併設されている



「神農生活」を視察しました。

平日の夕刻前でしたが、多くのお客様が訪れ、ショッピングや台湾グルメを楽しんでおられました。

おい町では台湾文化に触れる機会が多いとは言えませんが、このような店舗があることで台湾を身近に感じました。

一方で、このような店舗は購買人口の多い都市部だからこそ成立する側面もあり、地方で同様の取り組みを行うには一定のハードルがあると感じました。

貝塚市役所

貝塚市では、1963年に貝塚青年会議所(JC)と台湾との交流が始まりました。その後、東京オリンピックにおいて台湾女子卓球チームのホストタウンに登録されたことを契機に、自治体間の公式な協力関係へと発展したとのことでした。

国際交流は一足飛びに進むものではなく、お互いの信頼関係を構築するためには、時間をかけた積み重ねが重要であること。また、行政の取り組みはもちろん重要ですが、それだけでは交流は広がりにくく、民間事業者や各種団体の参入が交流を具体的に動かしていく大きな力になることも学びました。

今後は、行政と民間が連携しながら交流の裾野を広げていくことが重要であると再認識しました。



農業委員会と懇談

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、町の産業振興に向けて、町に政策提言するために調査研究を行っています。その中でも、農業の諸課題について集中的に協議を進めています。

今回は、おおい町農業委員会の皆さまと、農業の諸課題や要望などをお聞きしました。その意見を参考に、して議会ですることができることを考えていきます。

■ 渇水対策

昨年は全国的な猛暑で、佐分利川の中流域が干上がるという被害が発生しました。地球規模で温暖化が進み、今年も渇水被害が予想される中、次の意見がありました。

- ・ 恒久的な渇水対策が必要。
- ・ 上流域に貯水ダムが必要。
- ・ 農業用パイプラインの検討を。
- ・ 各圃場上流部に溜池の新設を。
- ・ 水を必要としない稲作の研究が必要。

■ 担い手不足

当町に限らず全国的に農業の担い手不足が大きな課題となっています。その原因は多々ありますが、農業だけで生計を立てることの難しさ

や重労働であるといったイメージがあり、営農に二の足を踏む状況です。そのような中、切実な意見がありました。

- ・ 農家組合長のなり手がいない。
- ・ 海外の人材を雇いたいが続ぎや住居確保などが困難である。
- ・ 自分の代で農業は終了となる。
- ・ J Aに担い手育成部門を作る必要があるのでは。

■ 農地管理

農家が減っていく中、農地面積は変わらないため、農家一軒当たりの耕作面積が年々増えています。また、耕作放棄地も増えており、次の意見がありました。

- ・ 農地パトロールをしているが、年々耕作放棄地が増えている。
- ・ 農地に適していない農地の転用の緩和が必要。
- ・ 遊休農地の草刈りが大きな負担である。



議会広報研修&クリニック

広報特別委員会

期 日 令和8年2月17日〜18日
場 所 全国町村議員会館
参加者 委員 6名

広報特別委員会では議会だよりを町民の皆さまにより読みやすく、一人でも多くの方に読んでいただけるよう広報紙の研修やクリニックに参加しています。今回の研修は、「AI時代に文章を書くとはどういうことか」と「議会だよりクリニック」について学びました。

AI時代に文章を書くとは
どういうことか

この題目で未来文創代表取締役の前田氏から講義を受けました。

- AIによる文章の特徴として次の2点が挙げられます。
 - ① AIによる文章は、データの偏りや誤った情報が含まれてしまうため、ハルシネーション（幻覚）のリスクがある。
 - ② AIが書くものの特徴は、情報を平準化し思考と感情の行き来がない。
- このことから、AIが書く文章は、内容が必ずしも正確ではなく、文章

に深みと説得力を生まないということです。



議会だよりクリニック

クリニックでは、記事構成や色使いについて高い評価を受けましたが、細かい部分で指摘があり、これを踏まえて今号から修正を加えています。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

町政こころが聞きたい!

3月定例会議では、4人の議員が一般質問を行いました。

おい町合併時における水確保の約束とは

町長 将来的な水利用に寄与する可能性に関し、言及された経緯があるが、「約束」といったものではない



道 浩 ひろみち
敷 屋 やしき

問 昨夏は例年にならない水不足に陥った。

名田庄村と合併すれば、水の心配はないと聞いていたが認識は。

答 (町長) 合併協議において、名田庄

地域が豊富な水資源を有していることから、旧大飯町において新町の将来的な水利用に寄与する可能性に関し、当時の議会や住民説明会などの場で言及された経緯があった。このことは約束と

来への期待や可能性の一端について触れられたものであり、そのことから町民の間にも一定の期待が広がったものと理解している。

問 河川から離れた集落での農業用水の確保は。

答 (農林水産課長) 昨年の渇水では複数のため池で水位低下が見られた。ため池の新設

は、水源調査、用地の確保、整備に伴う地元負担金や施設整備後の維持管理費の負担など多くの検討課題がある。短期的には既存施設の機能維持や水路の改修を進め、漏水防止や通水機能の向上を図り、安定的な用水確保

に努める。また、地域の農業者が連携を図り、区域を定めて順次用水を行う番水の取り組みを推進していく。

問 集落単位で簡易貯水タンクを設置すれば、渇水対策、防災面でも有効ではないか。

答 (町長) 将来の農業を守るという観点で受け止め、今後検討していく。

斎場建設の現状と課題とは

問 計画より遅れているが、現状は。

答 (町長) 大島地元の選定地では、地元理解が得られず、現在は小浜市にて選定作業を

している。デリケートな事案であるため、すべてを報告することはできない。若狭地域の住民の利便性、公益性を考慮しつつ、早期実現に向け努力している。

大島地区のトンネルの現状は

問 新大島トンネルでは、補修工事後1年半でまた湧水が発生。原因と対策は。

答 (建設課長) 以前と同様、中央排水管の中に新たに詰まりが確認された。新たなハンドホールを設置、中央排水管の清掃を行うため、

現在工事を発注し、4月初旬に施工する予定。今後は、工事完了後もパトロールなどにより状況把握に努め、適時適切な時期に点検を実施していく。



新大島トンネルの湧水

問 大島トンネルが暗い。

答 (建設課長) 本路線は道路の多重化と防災機能強化の観点において大変重要な道路であるため、早期の対応を県に要望していく。

ふるさと納税の現況は

問 県下多くの自治体で納税額が増加しているが、本町は右肩下がり。令和7年度の見込みと分析は。

答 (総務課長) 現時点における令和7年度の実績見込みは約1,300万円で、前年度比約12%の増額に転じる予定。この増額見込み

となった要因は、米に対する需要の高まりを的確に捉え、安定的な供給体制を整えたことが寄附者の選択につながったものと分析をしている。しかし受入額としては満足できる実績ではない。

問 増額に向けた取り組みは。

答 (副町長) 新たに

おい町商工会において、町との連携の中で返礼品提供事業者を対象としたふるさと納税返礼品ブラッシュアップ事業が展開されている。商工会によるこの専門性の高い取り組みが返礼品の付加価値を高め、寄附者に対する魅力向上に直結し、ひいては寄附額の増額へとつながればと期待している。この取り組みを持続的かつ効果的なものとするため、補助を拡充し、財政面からも支援する。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

地元に残り就職をする若者の支援は

町長 重要な人材であり、支援制度の検討を進める



つとみ 満也 堤

問 高校を卒業し地元に残り、就職した若者への就職祝い金や、定着支援金などの創出はできないか。

答 (町長) 本町の将来を支える大変重要な人材であり、制度内容や対象範囲など、前向きに検討を進める。

問 県外には、おおい町出身者の団体があるが、こういった団体を本町に積極的に招待し、交流の機会を数多く設けてはどうか。

県外には、おおい町出身者の団体があるが、こういった団体を本町に積極的に招待し、交流の機会を数多く設けてはどうか。

答 (まちづくり課長) 町外において「情報伝達の担い手」や「応援団」としての役割を担っていただけるものであり、交流の機会の創出について今後検討する。

町外において「情報伝達の担い手」や「応援団」としての役割を担っていただけるものであり、交流の機会の創出について今後検討する。



答 (防災安全課長) 本町の刑法犯認知件数

このうち特殊詐欺を含む詐欺犯罪は、令和4年から令和6年までの3年間で3件である。

問 現在の予防体制や取り組みは。

答 (防災安全課長) 条例に基づき「安全・安心まちづくり推進会議」を設置して特殊詐欺を重点課題と位置づけ、啓発活動や、小浜警察署と連携し、海外からの不審電話を未然に防ぐための国際電話利用休止手続きの周知などに取り組んでいる。

問 ここ3年ほど減少傾向とのことだが、県内他市町の状況と比べてどうなのか。

答 (町長) 刑法犯認知件数が3年間連続で減少しているのは、今年度は本町のみで、県警本部長から本町に対し「刑法犯罪防止取組優良市町賛辞」の表彰を受けたところである。関係者各位に、感謝を申し上げます。



問 金融機関との情報共有や地域の見守り体制との連携など、福祉政策の一環として体系的に取り組む必要があるのでは。

答 (いきいき福祉課長) 見守り体制として、高齢者等見守りネットワーク事業を展開し、その協力事業者として、各郵便局やJA、銀行といった金融機関とも協定を締結しており、さらに取り組む。

見守り体制として、高齢者等見守りネットワーク事業を展開し、その協力事業者として、各郵便局やJA、銀行といたった金融機関とも協定を締結しており、さらに取り組む。

問 デマンドバスは高齢者の通院や買い物など日常生活を支える重要な交通手段であることから料金の軽減を検討する考えはないか。

デマンドバス利用料金と運行
*大人 1500円 (大人2名以上利用は3000円)
*小学生 大人の半額
*70歳以上・障害手帳所有者 1300円
*未就学児・免許返納者(5年間) 無料
*運行 1
・大飯地域では地域内と高浜病院
・名田庄地域では地域内と小浜市谷口バス停まで

答 (総務課長) 現状の限られた車両や人的資源の中で、利用料

金の軽減はサービス提供体制の整備と併せて、今後慎重に検討する。

町政課題

問 町政運営を振り返り、人口減少対策や高齢者施策を含め現在、認識している町政の課題は。

答 (町長) 町の持続的繁栄を図るために、これまでの町のさまざまな資源を大都市に「送る」ことによって繁栄を目指した方向性から明確に転換し、人やモノ、技術を町に「集める」ことよって持続的繁栄の糸口にする必要がある。客観的的外部評価も含め、町民皆さまの幸福度や満足度の向上に向けた取り組みを進める必要があると考えている。

町の持続的繁栄を図るために、これまでの町のさまざまな資源を大都市に「送る」ことよって繁栄を目指した方向性から明確に転換し、人やモノ、技術を町に「集める」ことよって持続的繁栄の糸口にする必要がある。客観的的外部評価も含め、町民皆さまの幸福度や満足度の向上に向けた取り組みを進める必要があると考えている。

信託資金に対する町の基本的な考えは

副町長

広域的な課題や、中・長期的課題に対して先駆的な取り組みに活用したい



ほそかわ まさひろ 細川 正博

「原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」の設置経緯は。

問 「原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」の設置経緯は。

答 (町長) 運転開始から60年を迎えた後の姿も見据えながら、長年にわたりエネルギーの安定供給を支えてきた立地地域の将来に対する不安を払拭するためには、持続的な地域の発展を着実に実現していく必要がある。立地地域と国、電力事業者が目指すべき地域の将来像とともに検討、共有し、その実

現に向けて原子力に関する研究機関や産業の複雑化、新産業の創出など国、事業者による取り組みを充実、進化させていくための議論を行う場として設立された。

問 設置の目的は。

答 (町長) 脱炭素社会の実現に向けた国のGX政策と連動し、地域の資源や強みを最大限に生かした新たな産業や暮らしの姿を、国や県、立地市町や事業者がともにつくり上げていくこと。

問 その会議において、町からはどのような意見を出して、どう反映されたのか。

答 (町長) 「うみんぴあエリアの活用」「スマート農林水産業の振興」「自動運転の導入も視野に入れた地域交通の維持・充実」「住民の安全・安心に直結するインフラ整備と医療の充実」を提案した。共創会議で策定された取り組みの行程表に、水素・アンモニアサプライチェーンの構築やスマート農林水産業の拠点形成、交通モビリティの脱炭素化、自動化、避難道路の多重化や強靱化、地域医療の充実など、具体的な事業項目として反映された。

問 共創会議では新たな地域振興の仕組み(信託資金)がある。

町はどのような事業申請

を考えているのか。

答 (まちづくり課長) 県及び立地3町で信託資金の活用については協議を行い、合意形成を図った上で各事業の実施主体が申請を行うことになる。現時点では本町が申請を予定している個別の事業は決まっていない。

問 信託資金は立地地域の各種団体も活用できるが、その申請が町が一括する可能性はあるのか。

答 (まちづくり課長) 原則として各種団体からの直接申請となる。仮定となるが、町が各種団体に対して実施する補助事業が共創会議の取り組みを進めるために必要となれば、申請をする可能性がある。

問 信託資金を町の既存事業の財源に充当することは考えているか。

か。

単に置き換えることは考えていない。広域的な課題や中・長期的課題に対して先駆的な取り組みや共創会議で描かれた嶺南地域の将来像を実現するために活用したい。

答 (副町長)

存事業の財源に置き換えることは考えていない。広域的な課題や中・長期的課題に対して先駆的な取り組みや共創会議で描かれた嶺南地域の将来像を実現するために活用したい。

恐竜がやっぴん

問 こども家族館では3月下旬に「恐竜体験ゾーン」を新設すると聞いているがその詳細は。

答 (住民窓口課長) 大阪・関西万博に出展された福井県ゾーンの恐竜コンテンツを、3月25日から恐竜体験ゾーンとして供用開始する。恐竜体験ゾーンは、なんでもホールを使用し、実物大のフワイラプトルモニュメント、恐竜化石のバーチャル発掘体験、4面シアターでのVR体験の3つの恐竜コンテンツ

を体験できる。

営業は土日祝日や春休みなどの長期休業期間を中心に実施し、料金は大人320円、小・中高生150円、小学生未満は無料である。



問 こども家族館の魅力や価値を最大限引き出し、当該施設を活用したエリア振興戦略は考えているか。

答 (副町長) 今回大阪・関西万博から恐竜がやってくることでPR面において大きなアドバンテージを得ることができると考えている。今後はこの効果をもとに、町内全域に波及させたい。

こども家族館の魅力や価値を最大限引き出し、当該施設を活用したエリア振興戦略は考えているか。

こども家族館に大阪・関西万博から恐竜がやってくることでPR面において大きなアドバンテージを得ることができると考えている。今後はこの効果をもとに、町内全域に波及させたい。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

アンケート結果

ロードマップ方針の担保は

町長 地域住民の安全安心の確保が重要である



さるはし 猿橋 たくみ 巧

問 使用済燃料対策
ロードマップの方
針に対する実施の担保は
あるのか。

答 (町長) 担保を求
めるのではなく、
必要不可欠なバックエン
ド問題の解決、地域住民
の安全安心の確保にむ
け、前進し続けることが
重要であると考ええる。

問 核燃料サイクルを
目的とする原子力
政策は破綻しているかと
考えるか。

答 (町長) 事業者は
もちろん、国など

関係機関の取り組みを注
視するとともに、更なる
加速化に向け、適宜、要
請や発信などを行うべき
と考える。



六ヶ所再処理工場

介護保険制度対応

問 介護保険制度を安
定的に継続した
サービスを提供するた
めどのように対応する
か。

答 (いきいき福祉課長)
高齢者の生活実態



介護事業所の外国人雇用

や介護ニーズの把握に努
めながら、介護事業所の
経営改善につなげられる
サービスの実施方法や介
護人材確保の取り組みな
ど、必要な施策について
協議検討を行うとともに
に、「おい町高齢者福
祉計画、第10期介護保
険事業計画」の策定を進め
ている。

大学進学費用対策

問 現行の進学サポ
ー事業の支援額
は、物価、学費の高騰な
どにより額の引上げが必
要ではないか。

答 (学校教育課長)
給付金制度は、社
会経済情勢の変化などに
対応するため、5年間で
区切りとして制度の効果
を検証し、その内容を検
討する仕組みとしてお
り、令和9年度末を目途
に検討する。

問 卒業後、返済が求
められる学費負担
などの借金に対し、一定
の給付金事業を創設して
はどうか。

答 (教育長) 仕組み
として国において
検討されるべき性格の課
題であり、奨学金返済支
援制度の創設は拙速に判
断すべきものではないと
の認識から、新たに制度

を創設することは考えて
いない。

除雪対策

問 通学路や大型重機
の運行のできない
狭隘な生活道の除雪のた
め、小型乗用ロータリー
車の運行が必要ではない
か。

答 (建設課長) 行政
による対応にも限
界があり、公助だけでな
く住民主体の共助による
対応も不可欠なことが
ら、小型除雪機の導入補
助制度の活用や、地域で
実施できる環境整備に協
力いただきたい。



問 高齢者世帯の増加
で心配となる雪害
で、社協や区などの連
携の充実に係る現状と課
題は。

答 (いきいき福祉課長)
高齢者世帯の方々
の相談、要請の全てに対
応できる状況ではないと
いう点が課題で、近隣住
民との共助体制の構築や
有償ボランティアの人材
確保といった課題解決に
向けて検討をしていく。

問 住民税非課税世帯
や障がいを持つ方
などが冬季を乗り切るた
めの援助制度を設けては。

答 (副町長) 住民税
非課税世帯や障害
を持つ方がいる世帯に対
する援助制度の創設につ
いて、今後の社会情勢の
変化や国、県の支援制度
の動向も踏まえながら必
要に応じて検討していく。

追跡!

一般質問の
行方あれから
どうなったの?

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

?

災害時における避難所の
トイレ対策の充実は災害時の長期避難生活においてトイレ対策が重要だが、備蓄計画の充実はなされているのか。
(令和6年3月議会 猿橋巧 議員)

答 弁

必要な資機材の備蓄を
継続していく

避難所用簡易トイレを購入しているが、引き続き必要な資機材を備蓄していく。

!

トイレカーを1台購入

便槽タンク960ℓ(約480人分)、小便器1基、大便器5基を備えた3トン車を8年度中に納入予定。



トイレカーのイメージ

?

通学時の荷物軽減に給水設備
を設置すべき通学時の荷物軽量化対策として給水設備を学校に設置し、水筒を減らす工夫が必要では。
(令和7年9月 屋敷 議員)

答 弁

教育的配慮により給水環境の
充実を検討する

児童・生徒の安全確保や負担軽減、教育的配慮の両立を図り、給水環境の充実に向け検討する。

!

町内の小中学校に
給水設備を設置

冷温水器を児童・生徒の負担軽減、熱中症などの対策として町内の小中学校に設置。



冷温水器

「議会だより」アンケート調査結果を報告します

議会だより第80号で今後の議会の広報広聴活動に生かすためにアンケートを実施しました。書面での回答が44人、おおい町のホームページ掲載のアンケート2次元コードからの回答が8人、合計52人の方から回答をいただきました。その結果は次のとおりです。(抜粋)

* 注目する記事は…

- ①審議結果 ②一般質問 ③特集記事 ④活動報告 ⑤あれからどうなったの

「編集後記の一筆がとても良いです。」との回答があり、編集者として大変うれしく感じています。

* 「議会だより」への要望は…

- ①町民の顔や主張を増やす ②情報量を増やす ③その他のご意見
- ④特集を増やす

「議論の内容を詳細に記載してほしい」、「マンガイラストを使ってほしい」などの意見がありました。

* その他「議会だより」へのご意見（抜粋）

- ・ 町民の声、要望を取りまとめて掲載してほしい。
- ・ 一般質問の追跡をたくさん出してほしい。
- ・ もっともっと町民の皆様の意見を聞きたい。
- ・ 議会活動の中で先進地視察内容をもっと詳細に報告してほしい。
- ・ 議会での、議員の意見がどんなのがあったか、もっと知りたい。
- ・ もっと反対意見があったはずだと思う。
- ・ 輝く人の、「3年後は」の記事があるといい。



アンケートに協力いただきありがとうございました。

アンケートでは、町民の声の掲載を希望する回答や、議会や議員活動の記事拡大の意見が多くありました。この結果をふまえ、町民の方に登場いただく特集記事や、議会の取り組みや経過をわかりやすく発信し、より身近で開かれた議会だよりとなるよう取り組みます。

紙面の都合上、すべてのご意見を記載していませんが、それぞれを参考に今後も紙面の充実に努めていきます。

かがや 輝く子どもたち

大島認定こども園

今日も笑顔が満開！

今回は大島認定こども園の園児さんたちです。

はじめに 園の紹介

Q 教育や保育の目標を教えてください。

A リズム運動、体操、かけっこ、散歩などで体をきたえ、心身ともに健康でしなやかな子ども
・基礎的生活習慣が自立した子ども
・自己を充分に発揮しながら、意欲的に活動する子ども
・豊かな感性と思いやりのある子ども
・きまりや約束を守る子ども
・あいさつや返事のできる子どもに育つことを目標にしています。



どろどろだ〜



発表会
がんばるぞ！



何か
いるかな？



何して遊ぶ？



上手に
書くぞ



滑り台楽しー♪



みんなで食べる
給食はおいしいな



今日のおはなし
は何だろう？



なるほど！



プレゼントは
何かな？

Q 保育の方針や、独自の取り組みはありますか。

A 英語学習に取り組み、ヒアリングの基礎を培っています。また、毎年5歳児はスキー合宿に行きます。挑戦、自立、仲間づくりを経験します！

Q 小学生との関わりを教えてください。

A 毎年秋に大島小学校の秋祭りに5歳児が参加しています。手作り玩具や遊びのブースがあり、楽しい時間を一緒に過ごします！また、5歳児と1年生との交流では、歯磨き指導に来てくれました。

Q 運営面で困ったことを教えてください。

A 保育教諭採用が年々難しくなっています。園としては、働きやすい環境づくりや園の魅力発信に力を入れています。

卒園式や入園式で忙しい中、快く対応していただきありがとうございます。
英語学習やスキー合宿など、体験を通じて子どもたちの可能性を広げる、魅力的な取り組みが行われています。

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は6月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

6月 定例会議の 予定

会 期：6月5日から6月23日まで（19日間）
本会議：6月5日（議案提案理由説明）、6月18日（一般質問）、6月23日（採決）
委員会：予算決算常任委員会（6月5日、6月8日）
総務・産業建設常任委員会（6月9日）
台湾友好交流促進・原子力発電対策特別委員会（6月11日）

編集後記

新年度の始まりに際し、入学や就職で新たなスタートを切る皆さまが、人生の目標に向かって前向きに進んでいかれるよう心より応援いたします。

私の身の回り事ですが、2月末から義母（97歳）の自宅介護が始まり、エアコンやテレビの取り付けなど慌ただしい準備で携わっている中で、買い物に出かける時など交代で対応しています。

診療所の往診での安心感、社協でのデイサービスなど多くの方々にお世話になり感謝申し上げます。介護電動ベッドなどや介護用品（おむつなど）の購入費助成制度の充実を実感しています。

毎日、ひ孫との出会いを楽しみながら、終の棲家でゆつくりと過ごせる事を願っています。

（田中 記）

広報特別委員会

委員長	細川 正博
副委員長	中西 秀和
委員	堤 満也
委員	田中 秀樹
委員	高本 和良
委員	寺井 義孝
委員	山口 将史